

各位

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 上場会社名   | ザインエレクトロニクス株式会社 |
| 代表者     | 代表取締役社長 飯塚哲哉    |
| (コード番号) | 6769)           |
| 問合せ先責任者 | 取締役経営企画部長 高田康裕  |
| (TEL)   | 03-6860-0666)   |

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

|                                    | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|
|                                    | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                          | 4,641 | 87    | 95    | 59     | 484.94      |
| 今回発表予想(B)                          | 3,778 | 166   | 117   | 72     | 597.56      |
| 増減額(B-A)                           | △863  | 79    | 22    | 13     |             |
| 増減率(%)                             | △18.6 | 90.8  | 23.2  | 22.0   |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年12月期第2四半期) | 5,896 | 1,224 | 1,298 | 812    | 6,670.88    |

平成22年12月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

|                                    | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
|                                    | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想(A)                          | 4,641 | 86   | 94   | 58     | 477.56      |
| 今回発表予想(B)                          | 3,778 | 162  | 113  | 69     | 612.49      |
| 増減額(B-A)                           | △863  | 76   | 19   | 11     |             |
| 増減率(%)                             | △18.6 | 88.4 | 20.2 | 19.0   |             |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(平成21年12月期第2四半期) | —     | —    | —    | —      | —           |

#### 修正の理由

当社は2010年から2012年に至る中期経営戦略「TACK123」を掲げ、その達成に向けた取り組みを行っています。「TACK123」では逆風とも言うべき経済環境の中で機動的に方向を切り換えながら成長に向けた前進を図ることにより、業界をリードする第1級のサプライヤーであり続け、現有経営リソースによる売上総利益を3年間で2倍の成長(有機的成長)を目指し、さらにM&Aの機会を貪欲に追求することにより2012年の売上総利益を3倍に成長(化学的成長)させることを目指しています。平成22年2月5日付「平成22年12月期 決算短信」により公表しました平成22年12月期における第2四半期(平成22年1月1日～平成22年6月30日)の業績予想を上記のとおり修正いたします。

当第2四半期累計期間においては3D(3次元)対応テレビ等に用いられる高速インターフェースLSIや電源制御LSIの出荷数量が伸び、携帯電話向けの1300万画素LSIや800万画素対応の画像処理LSIの出荷が堅調に推移しておりますが、他方で本年下期に次世代インターフェースV-by-One(R)HSが本格的に出荷開始となるまでの間は、既存技術を利用した製品の価格低下が進むと予想されます。こうした状況を踏まえ、弊社製品適用モデルの絞込みも行っていることにより、これらモデルにおける出荷数量も計画を下回る見込みです。このため、第2四半期累計期間における連結売上高は3,778百万円(計画比18.6%減)、連結売上総利益は1,626百万円(計画比17.0%減)となる見込みです。

当第2四半期累計期間の研究開発活動につきましては、短期間での利益回収確度が高いプロジェクトへの重点化を図ったことに伴い、連結営業利益は166百万円(計画比90.8%増)となる見込みです。また、第2四半期末にかけて円高が進行したことに伴い、為替差損が生じたことにより、第2四半期累計期間における連結経常利益および同連結純利益はそれぞれ117百万円(計画比23.2%増)、72百万円(22.0%増)となる見込みです。個別の業績予想についても同様の要因によります。なお、今回の第2四半期業績予想の修正をも踏まえた通期の業績への影響については、判明次第公表する予定です。

#### <ご注意>

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以上